

平成13年7月31日①

南高同窓会之報

発行所
四日市市大字日永字岡山
三重県立四日市南高等学校
同窓会
Tel <0593> 45-3177



ご挨拶 会長 平野 哲次

「構造改革なしに景気回復無し」の旗印のもとに、小泉内閣が発足して現在に至る。

国の構造改革は、総理大臣と担当大臣の手腕にかかっているが、結果が出るまでには2・3年が必要といわれている。

しかし民間企業にそんな余裕は無い。現在も死に物狂いで企業の再構築と方向の転換が進められている。

企業の再構築（リストラクチャリング）は急速に進み、骨身を削って立ち直った者もあれば、失敗して消え去った者も現れた。

リストラは比較的判り易く実施しやすいことであり、深い知恵や能力をあまり必要としない。しかし、企業の方向転換となるとそう簡単ではない。今日まで投資した設備や、研究、販売ルートを手放して新しい事業に取り組むことは大きな賭けであり、トップの英断が求められる。

あるメッキ工場では、これまで続けてきた量産品の加工を止めて、これまでの自社技術を生かして付加価値の高いDNAチップ開発に果敢に挑戦しバイオベンチャーに変身した。

また食品スーパーでは、創業以来の大量仕入れ・大量販売から、対象を独身者、独居老人等の一人暮らしや、夫婦二人に子供一人の小家族に絞り、すべて99円のパックで販売して大手スーパーに対抗して成功している。

単価下落経済のもとで対処療法的なコスト削減では乗り切れない。「まず捨てよ、さらば糧を得ん」これが方向転換の基本と言えそうだ。

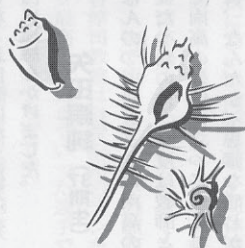
いままでの柵に囚われず、捨てるものは捨てていくことも、これからの市場経済にはもたらされているのかもしれない。

あらゆる分野で活躍される同窓会の中には、この不況下で苦しんでおられる人もあるので

はと推察されるが、南高の校風である「開拓者精神」を奮い立たせて難関に立ち向かっていただくようお願いしております。

いよいよ今年も総会が近づいて来ました。例年通り会場は四日市都ホテルで

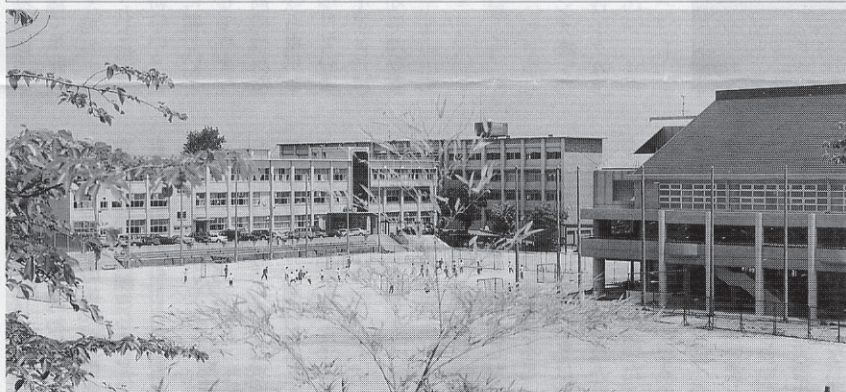
す。総会は第一回より第2日曜日に開催しています。気分転換に気楽に出かけて下さい。特に今年入会の皆さんの出席を期待しています。では会場でお会いしましょう。



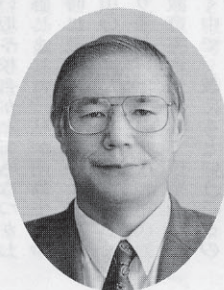
南高同窓会ホームページ開設

<http://www.4nan.jp/~dousou/>

ご要望のありました同窓会HPを開設しました。アクセスしていただき、会員相互の情報交換等にご利用下さい。よろしくお願ひします。



校舎全景



学校長 寺下 弘

ご挨拶

会員の皆様にはご健勝で過ごしのことと思います。平素は南高校のために厚い支援とご鞭撻をいただいていることに心からお礼を申し上げます。

さて母校は、平成13年度の入学式、始業式に始まった学校行事も春の遠足、体育祭でようやく一学期を終了したところです。

この間生徒に関わる大きな事故もなく喜んでるところです。

本年度は、1学級減ということで、新一年生は319名が入学しました。例年のようにPTA進路指導研究会により、保護者の進路意識を理解するために、入学式後に進路希望のアンケートがとられました。その結果をご紹介しますと、国公立大学へが77%、私立大学へが20%でした。

また、お子様はどう考えていると思いますかという問いには、国公立大学が62%、私立大学が22%という結果でした。

回答率は59%とはいえ、そのうちの80%近い保護者が国公立大学を志望していることになりました。

生徒たちについては、これから

らの学習や保護者、教員などとの相談の他、様々な情報などを通して自身の将来像を見つけていくものと思います。ちなみに、昨年度の進路状況は、国公立大学が現役105名、過年度が16名の合計121名、私立大学が現役480名、過年度74名の合計554名の合格という結果でした。

また、夏休みには希望者への校内での課外授業のほか、一年生の希望者への学習合宿を行うこととしています。

今本校においては、本校自身の将来像を模索しています。少子化による生徒数の減少、平成14年度からの完全学校週五日制と15年度からの新学習指導要領の実施などのほか教育改革関連の法改正など、教育をめぐる状況は大きく変化をしています。

こうした中で「不易」なものとして「開拓者精神」を忘れることなく

誇りがもてる学校を目指して努力をしていきたいと思ひます。

同窓生の近況

山路 熟 (14期生)

南高を卒業し早くも27年。大学時代を神戸で過ごし、大阪の製薬会社に就職。

その後故郷へのUターンでキヤブテンステムの入力会社を設立したのが昭和62年の夏。今というベンチャービジネスの始まりであり、郵政省との関わり

の第一歩でありました。当時は、「ニューメディア」という言葉で地域の情報配信を行っていくという、郵政省の肝いりで始まりましたが、これが悪戦苦闘の連続。イメージとキヤラクターを専用端末で写し出すという仕組みですが、今のINTERNET Home Pageの走りともいえる代物でした。しかしながら、こんなおもしろくない仕組みは一般に普及するのは「絶対無理!」と思いつつも郵政省、地方行政が取り組むということでは将来の無限の可能性を信じ、ずいぶん張り込んだのが懐かしく思います。(笑)

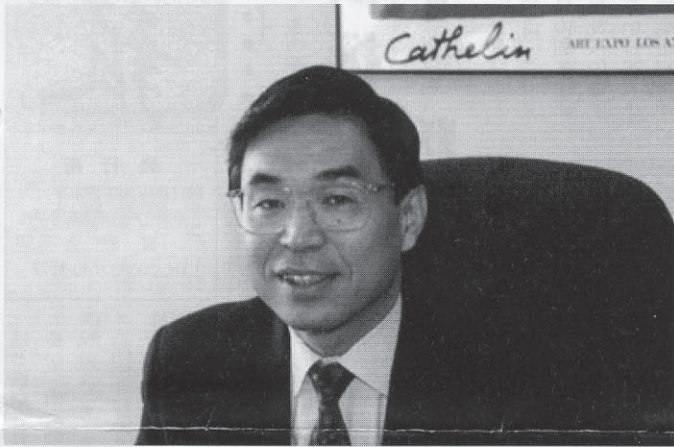
そして、古きニューメディアとの別れを決心させる出来事が昭和63年の父の死去でありました。

その後、ケーブルテレビ事業と出会い、昭和63年6月ケーブルテレビジョン四日市(株)の会社設立を行い、平成元年6月、全国で17番目の有線放送事業者としての認可を郵政省から頂き四

日市市での第2のメディア時代をスタートさせました。

テレビの多チャンネルと地域情報の発信サービスでスタートしたこの会社も、郵政省から第1種通信事業者として免許を受け、ケーブルテレビ「Cathelin」サービス商用化の第1号局として平成9年4月からサービスを開始しました。この時代の許認可省庁の対応は大変厳しく、申請書類作成、東京の本省への提出、修正、提出の繰り返しで、これまで一番苦しい免許取得作業であったことを今でも思い出します。

そして郵政省ブランドとしては最後になってしまいました。が、一昨年、平成11年8月にコミュニティFM放送事業者として「FMよっかいち」の免許を取得し、北勢地域のラジオ局として「Port Wave」を地域のボランティアさんの協力による番組制作、局運用といったユニークな、ある意味ではケチな?放送を開始しました。北勢地域のOBの方はラジオで、その他地域の方



は、<http://www.p-wave.net>のインターネット放送で是非お聞き下さい。

地域貢献事業の端くれと信じ、時代の流れとともに新しいメディアを地域に提供してきましたが、気が付くと南高の級友たちとの接点もなく、今も東京と四日市を走り回りつづけていますが、OBの皆様CTYとFMよっかいちのスタジオにぜひお越し下さい。

(株)CTY
FMよっかいち(株)
サイバー・ネット・
コミュニティシヨンス(株)
伊勢ケーブルネットワーク(株)
取締役 山路 熟

今年も教育実習が行われました。実習員7名中の第36・37期生の方々に感想をお聞きしました。

石丸公一 (36期生)

な、なんだこの異様な雰囲気は！教育実習一週間はこんな感じで四面楚歌だった。そんなうつぶんがたまっていたので、二週間目にはじけた。

まわりの生徒や先生から教育実習生じゃないみたいと言われ、ほど横暴ぶりを発揮した。普通なら放課後に指導案を書いてその日に出すのだが、私は放課後速攻クラブに行き、夜八時ぐらいいまで生徒と話していた。それから指導案を書き、寝るのは夜の一時。朝起きた時に、今日は絶対クラブに行かないぞと思うのだが放課後になるといつも行ってしまう。教育実習生というよりは生徒であった二週間でした。お世話になった先生方、本当に迷惑をかけました。

矢田宗純 (37期生)

ほんのつい最近までは南高の生徒だったのに、今度は教師として南高の教壇に立っていることに、なんだか不思議な感じがした。教育実習の初日は、まだ教師としての実感がわかず、とまどってはかりだったが、授業をし、クラスのみんなと接することにより、今自分が教師であることに對する喜びと誇りを感じた。教育実習は2週間という

大変短い期間だったが、それでも学ぶべきものはたくさんあった。生徒と共に学び、そして笑顔が絶えないといった、すばらしい環境を持つ南高にまた戻ってきたいと思う。実習生ではなく、教師として。

中川紘子 (37期生)

久しぶりに四日市南高のあの傾斜のげいしい坂道を登り、登城ヶ丘から見える四日市の景色を眺めました。三年前に卒業してから、自分がまさか教師という立場で、南高から見えるこの景色をみることになるうとは思いもしませんでした。

今の南高の生徒たちは私達の頃と同様、いやそれ以上に明るく元気一杯でした。彼らを見てみると、「自分も高校のときはこういうことで悩んでいたよなあ。」と自分の高校の頃を思い出しました。今、思えば高校時代は高校生にしかできない喜び、悩みがありました。生徒たちも思いきり高校生活を楽しんで後悔のないように進んでほしいと思います。

鏡有加里 (37期生)

久しぶりに南高を訪れて、きつい坂や校舎がとてまなつかしく感じました。私が南高生だった時に教えていただいた先生も沢山いらっしやって、うれしくなりました。

教育実習生として授業をしていく中で、教えるということの難しさを実感しました。生徒が



どれだけ50分興味を持って話を聞いてくれる授業をするかを考えることはとても難しく感じました。

今の南高生はとても元気で明るい生徒がたくさんいました。体育祭での応援合戦は、みんなとても熱を入れていて圧倒されました。これからもそのパワーを忘れずに南高生活を楽しんでもらいたいと思います。

伊達千裕 (37期生)

6月4日、私に2週間も「先生」が務まるのだろうか、という不安を胸に登城ヶ丘へ登っていききました。生徒とうまく付き合えるのがとても不安で、少し暗い気分になったりもしていました。しかし、実際生徒と接してみると、そんな不安は吹き飛んでしまいました。私が想像していたよりもずっとと生徒は素直でかわいかったです。授業は、思った以上に大変でし

た。教材研究には終わりがなく、自分の考えを生徒に伝えることは難しい。先生の苦勞や努力がどれほどのものかを、実習生という立場に立つことで実感することができました。このような貴重な経験をさせていたいてありがとうございます。

大川芳菅 (37期生)

「バツカも〜ん!」

恩師の声が響きわたる。僕は今南高にいます。卒業して二度と来ることはないと思っていたが、南高校の職員室に座っている。三年という月日は早いもので、今だに自分が教鞭をふるい、教壇に立つ人間になっているとは信じ難い。自分がまだ南高生であつた頃、お世話になつた先生方は全くお変わりなく、自分が南高校の生徒に戻つた様な気分です。そして、二週間後、もう一度南高校を卒業する様なうれしさやらさびしさを今、かみし

躍進する部活動

テニス部

今年度三重県高校総体における四日市南高校テニス部の試合結果は男子団体戦四位、女子団体戦ベスト十六でした。

個人戦は男子、女子ともにシングルスでベスト十六に入った選手が一人ずついただけでした。個人戦は地区予選で勝ち残り、本戦県大会に出場することはなかなか難しいようです。

めています。おっと!思わず涙が……。先生方へ。

二週間大変お世話になりました。右も左も分からぬ実習生達に、一から色々ご指導、注意、助言をいただいた事、大変感謝しております。先生方の助言のお陰で内容の濃い教育実習ができたと思います。

恩師へ。

高校三年間と教育実習二週間本当にお世話になりました。三年前とお変わりなくどの先生方も元氣そうで何よりです。また会いに来ますのでお体に気をつけて授業に部活動、生徒指導などがんばって下さい。

そして最後に僕達の教え子! (後輩?)へ。

充実している一方で不満だらけの高校生活。その片隅にでも僕らがいたら最高にうれしい。二十歳を越えたら会おう!一杯呑みに行こうではないか!

男子団体戦については、第五シードで臨んだ大会でしたが、順当に勝ち上がった結果、準決勝で四日市工業高校と対戦し、惨敗に終わりました。

その後三位決定戦において、宇治山田商業高校と対戦し、シングルス2は取ったのですが、ダブルスとシングルス1を落とす結果になり、惜しくも一対二で敗れました。男子団体戦四位



の結果は、昨年度ベスト8で新人戦では五位だったことを考えあわせると、大きな飛躍だったと言えるでしょう。

女子団体戦においても、三回戦で当たったのは第二シードの宇治山田商業高校でした。こちらにはあつけなく負けるかもしれないと予想されていたのですが、ダブルスは負けたものの、シングルスが大健闘。五ゲームを先取りし、マッチポイントまで取りながら、5-7にひっくり返されて負けるという結果でした。シングルス2は勝ちましたので、1を取っていれば、宇治山田商業高校女子は三位という結果だったため、大金星で上位入賞もあり得たという健闘ぶりでした。不運なドロウであったため、十六に終わりましたが、次につながる大会だったようです。メンバー全員が二年生でしたので、水谷等監督曰く「秋はねらうよとのことです。」

昨今の南高校テニス部は一九九八年より水谷等教諭、一九九九年より谷淳司教諭が顧問につ

くというように指導者に恵まれ、それまでの南高校テニス部に見られた同好会的活動とはうってかわって、運動系クラブらしい、クラブに変貌しました。女子の顧問をしている水谷教諭は南高校に赴任するまで、四日市四郷高校において何年も女子団体戦優勝を果たしたという実績を持ち、高体連テニス部門の役員でもある人物です。また、男子の顧問の谷淳司教諭は自身が県のランキング最高十二位までいった選手でもあつたという人物です。

これまでの顧問の指導が決して甘かったというわけではありませぬし、これまでも県大会で上位入賞したことは何度もありましたが、クラブ活動の内容として、水谷、谷両顧問の指導が今までになく厳しくまた合理的かつ経験に基づいたものとなつていることは否めない事実であると言つていいでしょう。

指導方法は、玉だしによる反復練習を基本とし、ストローク、ボレー、スマッシュ等ひとつひとつの基本運動について指導をしながら練習させていくというものです。ゆるいボールをつなげるのではなく強いボールを打ち分けることができることを目標に練習を積み上げていく毎日です。もちろん大会前には実践練習も取り入れられ、いかにすれば試合に勝つことができるかという課題について、頭でも理解し、体にも覚えさせるという姿勢で練習が行われます。男子の場合、四日市工業高校

の壁が大きいため、優勝ということも考えることが難しいようにも思われますが、女子の場合には二年生以下の他校の選手の様子を見ても、決して不可能なこととは思われない状況ですので、今後の南高校の二年生女子の成長によつては可能性がないとはいえないと思われまふ。

テニスの技術指導の変化に伴つて、クラブ中の生徒の行動言動も、随分きびきびとした組織的なものになりました。礼儀をわきまえる指導もなされ、活気のある中にも挨拶もでき、ボール拾いやコート整備なども自主的に行われるようになってきています。成長過程にある生徒のことですので、まだまだ至らない部分もあり、叱られることもしばしばですが、徐々に礼儀を知り、献身的に活動できるようになりつつあります。



力と練習次第では充分上達し、場合によつてはレギュラーをねらうことも可能でしょう。水谷教諭は初心者でも本人次第でうまくできると言っていますし、男子、女子ともすべての部員がうまくなるチャンスを持てる練習メニューとなっております。また、多くの部員が早朝練習を行つており、技術の向上を目指しています。

今年度の部員は男子三十九名、女子十八名でした。県総体も終りましたので、三年生は現在出てきていませんが、相変わらず男女それぞれ一面のテニスコートで、毎日練習しております。三回中二面を照らす照明がついたものの、暗くなってから練習ができるほどの照度はなく、暗くてもコート整備やボール拾いができる程度の明るさですので、冬場は練習時間が制限されるという条件は変わっていません。このような悪条件の改善のないまま、顧問も工夫し、生徒達も熱心に練習しているという毎日です。

このような状況の中、さらなる技術の向上と、県大会上位入賞を目指すとともに、テニスを愛し、生涯テニスを続けられるような生徒、また、礼儀を重んじ、人間関係を大切にできる豊かな人間性を持った生徒の育成を目指して日々励んでいます。同窓生の皆様には南高校テニス部の今後の活躍にご期待いただくとともに、熱心な応援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

▼野球部

今年も夏大会が近づいて来ま... 昨年の秋、今年の春と地区予選を突破できず、県大会出場を逃しましたが、その悔しさをバネに部員一丸となって夏の陣に臨みます。目標はベスト8。現在の部員数は、選手36名。マネージャー18名。ご声援下さい。

▼剣道部

今年度の特筆すべきことは、本校OB（一九期生）の浦田治先生（数学）が菰野高校より本校に赴任されたことです。生徒諸君にとっても大きな喜びですが、年々部員数も少なくなり、何とかして伝統の灯を未来につなげたいと思っています。

▼バスケット部

今年度の部員状況は男子40名、女子21名、マネージャー7名で活動しています。昨年の活動成績としては、男子・女子ともに春の総体・秋の選抜優勝大会とも北勢地区予選で県大会への出場権を得ましたが、県大会においては上位に入ることができません。例年、県外への遠征として、冬休みに男子は奈良へ女子は大阪へ行っています。また女子は今春京都（ユニチカ）に行き、実業団チームのレベルの高さに強い刺激を受けて帰ってきました。

以上簡単ですが、御報告し、今後も同窓会員の先輩方には、御指導、御支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

▼陸上部

現在、部員は男子14名、女子4名の18名です。人数は少ないですが、男子八百Mで三年生の大橋君が2位、女子三千Mで二年生の大谷さんが6位と活躍し、東海大会へ出場します。そして久々の全国総体出場めざして練習に励んでいます。高校駅伝も男女両チーム出場し、8位入賞をめざしがんばっています。応援宜しくお願いいたします。

▼柔道部

21世紀のスタートは上々です。1月の新人戦には県ベスト8に入り、女子も2位と3位に入っテシード権を獲得しました。4月の県高校選手権大会ではシード権を有効活用して、5位に入賞することができました。6月の県高校総体にはベスト4に入って東海高校総体に出場したいと願い、朝練、毎日の稽古、筋トレに励んでいます。

▼水泳部

（競泳ブロック）二年生 小林寛子 平泳ぎ「三重県春季」「三重J.O」「高校総体」「三重県選手権」「新人大会」百M・二百M 優勝「東海大会」百M二百M三位「全国高校総体」出場「国民体育大会」二百M・メドレーリレーに出場。

（水球ブロック）部員数が少なく苦しんでいます。毎日頑張っています。

▼サッカー部

現在の部員数は、選手29名とマネージャー6名です。春のインターハイ予選では、ベスト16まで進出しましたが、2次リーグで惜敗しました。現在は3年生が引退し、2年生を中心とする新チームで日々の練習に励んでいます。傑出した選手はいませんが、より一層高いレベルで試合に臨めるようがんばってまいります。

▼ソフトテニス部

ソフトテニス部は現在、男子19名、女子8名の27名で活動しています。東海総体三重県予選では、女子団体がベスト8に進出しました。さらに準々決勝では、優勝した三重高チームをあわてさせるとい場面もありました。コートが一面しかないのが悩みですが、男女が競い合って、練習に励んでいます。

▼ワンダーフォーゲル部

一年生が二人、二年生が四人と学年的にもバランスよく部員が入ってくれた今年のワンダーフォーゲル部は平日の筋トレはもちろんのこと、休日は鈴鹿山脈の山々を中心に山行を楽しみながら登山技術を身につけています。昨年は夏合宿で穂高岳方面へ行きました。事故もなく安全に行けたのは日々の練習の成果だと思えます。

▼バドミントン部

部員は6月現在男子25名、女子29名です。本年度は一年生が多く入部し、月曜日を除く毎日熱心に活動しています。中学校時代の経験者はほとんどいませんが、まじめにこつこつと練習に取り組んでいます。女子は県総体個人戦、2部ダブルスで3位になりました。

▼女子サッカー同好会

昨年、出来たばかりの部活なのでまだ部員は8人しかいません。ですが、毎日遅くまで練習しています。高校総体には間に合なかつたけど、秋の東海大会には出場したいと思っています。静岡を倒して全国大会出場を目標にがんばります。

▼空手同好会

昨年度は愛好会として発足して、本年度同好会として昇格した。部員数は二十三名で武道場をかりて活動している。三年三組加藤靖典を中心として頑張っています。鍛える身体と精神力を合言葉に努力しています。

▼電算無線部

平日は毎日放課後に、電算部ホームページの更新作業や、その他パソコンを使って自分の趣味の幅を広げたりする活動をしています。ホームページに関しては校外に広く情報を発信しているため大きな責任が伴いますが、その事を踏まえて頑張っている私どもにとって、

平成12年度 進路状況

2001年入試大学合格者数

Table with columns: 大学名, 合格, 大学名, 合格, 大学名, 合格, 大学名, 合格, 大学名, 合格. Lists various universities and their admission numbers for 2001.

2001年春の卒業生359名の進路状況は、国公立大学26%、私立大学46%、短期大学6%、専門学校7.5%という結果でした。浪人生は約12%、42名です。他に若干名が就職、無業者、海外留学となつています。数理科コースの83名に限ると、国公立大学へ51%が進学しています。

山形大学工学部で多数の合否判定ミスを出した事件に関しては、今年度の入試で本校生一名が不合格とされてしまいました。この卒業生は山形大学への入学は断つたようです。その後富山大学文学部、金沢大学理学部と合否判定ミスが相次いで明らかになりました。富山大のミスの隠蔽は犯罪的行為だと思えます。人生の実現への一歩を踏み出すために入試で一点を争っている本校生を指導している私どもにとって、学生の受け入れという教育の入り口でのこの実態は、大学の教育機関

部員数は7名になりました。しかし、囲碁をする人がだれもいなく、囲碁の活動は停止状態です。ここ数年将棋は全国大会に行けなかったのですが、今年こそは行きたいと思っています。

生物部

今年度は新人部員六名が入って、計十三人となりました。昨年は、全国大会に二名出場したり、文芸道場でブロック大会が三重県で行われ、灰谷健次郎先生に講師として来ていただいたりして、高成績を残しました。

箏曲部

今年度は新人部員六名が入って、計十三人となりました。昨年は、全国大会に二名出場したり、文芸道場でブロック大会が三重県で行われ、灰谷健次郎先生に講師として来ていただいたりして、高成績を残しました。

音楽部

今年度は新人部員六名が入って、計十三人となりました。昨年は、全国大会に二名出場したり、文芸道場でブロック大会が三重県で行われ、灰谷健次郎先生に講師として来ていただいたりして、高成績を残しました。

演劇部

今年度は新人部員六名が入って、計十三人となりました。昨年は、全国大会に二名出場したり、文芸道場でブロック大会が三重県で行われ、灰谷健次郎先生に講師として来ていただいたりして、高成績を残しました。

イラスト部

今年度は新人部員六名が入って、計十三人となりました。昨年は、全国大会に二名出場したり、文芸道場でブロック大会が三重県で行われ、灰谷健次郎先生に講師として来ていただいたりして、高成績を残しました。

天文部

今年度は新人部員六名が入って、計十三人となりました。昨年は、全国大会に二名出場したり、文芸道場でブロック大会が三重県で行われ、灰谷健次郎先生に講師として来ていただいたりして、高成績を残しました。

囲碁将棋部

今年度は新人部員六名が入って、計十三人となりました。昨年は、全国大会に二名出場したり、文芸道場でブロック大会が三重県で行われ、灰谷健次郎先生に講師として来ていただいたりして、高成績を残しました。

文芸部

今年度は新人部員六名が入って、計十三人となりました。昨年は、全国大会に二名出場したり、文芸道場でブロック大会が三重県で行われ、灰谷健次郎先生に講師として来ていただいたりして、高成績を残しました。

書道部

今年度は新人部員六名が入って、計十三人となりました。昨年は、全国大会に二名出場したり、文芸道場でブロック大会が三重県で行われ、灰谷健次郎先生に講師として来ていただいたりして、高成績を残しました。

新聞部

今年度は新人部員六名が入って、計十三人となりました。昨年は、全国大会に二名出場したり、文芸道場でブロック大会が三重県で行われ、灰谷健次郎先生に講師として来ていただいたりして、高成績を残しました。

美術部

今年度は新人部員六名が入って、計十三人となりました。昨年は、全国大会に二名出場したり、文芸道場でブロック大会が三重県で行われ、灰谷健次郎先生に講師として来ていただいたりして、高成績を残しました。

吹奏楽部

今年度は新人部員六名が入って、計十三人となりました。昨年は、全国大会に二名出場したり、文芸道場でブロック大会が三重県で行われ、灰谷健次郎先生に講師として来ていただいたりして、高成績を残しました。

華道同好会部

今年度は新人部員六名が入って、計十三人となりました。昨年は、全国大会に二名出場したり、文芸道場でブロック大会が三重県で行われ、灰谷健次郎先生に講師として来ていただいたりして、高成績を残しました。

インターアクト部

今年度は新人部員六名が入って、計十三人となりました。昨年は、全国大会に二名出場したり、文芸道場でブロック大会が三重県で行われ、灰谷健次郎先生に講師として来ていただいたりして、高成績を残しました。

としての資質に疑念を抱かせるものであり、最近強調されているアドミッションポリシーという言葉もむなしく感じます。

ところで、国立大学の入試環境に大きな変化が起こりつつあります。2004年のセンター試験から5教科7科目を課すという国大協の提言、医学部の入試に理科3教科を課す問題、文部科学省の99校ある国立大学の再編(削減)方針などです。また高校の教育課程は2003年より年次送りで改訂され、2006年のセンター試験は現行と大きく変わる事が決まっています。本校でも教育課程や進路指導計画をこれらに対応させるべく検討をしています。しかし現状は、現一年生の受験する2004年センター試験ですらどの科目が入試に課されるのかまだ決まっていないのです。変化は突然受験生の目の前に現れるのです。もちろん日本の教育をどうするかという問題は緊急でも大切です。文部科学省の「ゆとり」に批判が相次ぎ、「学力」問題を考えるとき、大学にとっても高校にとっても国大協の「7教科」は一つの糸口です。しかし、「次の教育へのステップとして大学入試に取り組んでいる受験生」の問題は各論として後回しにされているように感じます。「日本の教育」とは全体の、統計として表れる教育効果である以前に「ひとり一人の若者」の問題であるべきです。国大協や個々の大学、文部科学省には「毎年進級してゆき、継続して教育を受けているひとりの人間」を見る視点が欠けているように感じます。

私立大学についてはポーターフリー大学が1割ないし2割を数える今でも、なぜか私大の新設は続いています。しかし「選ばなければ全入」時代を目前にして、私大の自己改革も活発なようです。売りを「専門性」から「実践的で問題解決的教育」へシフトしているのは歓迎すべき事です。この点で入試難易度の低い大学にも注目すべき大学が増えています。教育内容にまで踏み込んだ大学選びが重要になっていきます。この様な私大の動きや、国公立大を取り巻く状況の変化を見ると、高校教育にもゼネラリスト養成の視点が大切になってきたなと感じておるところです。

(進路指導部主任 三吉 研一)

ご注意ください!

同窓会名鑑を作成するという名目で、調査用紙が多くの同窓会員に郵送されておりますが、南高校同窓会とは一切関係はありませんので御注意下さい。



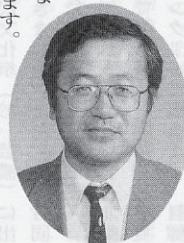
先生お元気ですか

長年本校に勤務され、退職又は転勤された先生方にアンケート形式の手紙に答えていただきました。

◆アンケート項目

- ①南高を転退職されてから何年になりますか。
- ②何歳になられましたか。(おさしつかえなければ)
- ③現在のお勤め先又はご職業と併せて近況をお聞かせ下さい。
- ④趣味あるいは余暇の活用等の様子をお聞かせ下さい。
- ⑤南高時代の最も印象に残っていることはどんな事ですか。
- ⑥南校及び南高生にご助言があればお聞かせ下さい。

羽田 喜昭先生



- ①四日市南高校に15年間お世話になりました。転勤して3年で、いま四北です。
- ③現在、夜間定時制の四日市北高等学校に勤務しています。もう三年目になります。夜の生活は、少しきつい面があります。定時制に通ってくる生徒は四南の生徒とちがつて多様な生徒がやってきました。中学校で不登校だった15歳の生徒もいますし、高校に通うことができなかった人が40歳、50歳、70歳になって学校の門を叩いてくる場合もあります。もちろん働ながら学ぶという設立の目的そのものでやってくる生徒もいます。そうした多様な複雑な家庭(生活)環境を肌で感じながら、右往左往している状況です。
- ⑤南高の15年間あつという間に過ぎたような気がします。今思いたすと当時としてはいろいろ感じたのでしょうか楽しい思い出が残っていません。文化祭で熱気球を上げたこと、カリキュラムを考えたこと、ワンゲルの顧問として北アルプスの縦走、みんな楽しい思い出です。
- ⑥個人を考えれば、複雑な家庭環境の人もいるのでしょうか、全般的には四北の生徒に比べて恵まれていると思っています。そのチャンスを最大限に自分の物にしてやっつけてほしいと思います。

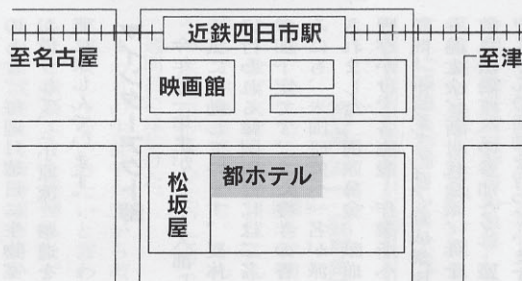
★原稿を募集します★

内容…自由。
 字数…800～1000字程度
 期限…平成14年4月末日(今すぐでも結構です)
 提出先…南高校内同窓会事務局
 ◆卒業同期・氏名を明記してください。

● 総会ご案内 ●

- とき 平成13年8月12日(日) 午後3時30分より
- 会場 四日市都ホテル・3階 鈴鹿の間

会場案内地図



会計報告など総会(30分程)、立食パーティー形式の懇親会を予定しております。例年、1期生から卒業されたばかりの方々まで、様々な年度の卒業生に集まっています。今年も、同級生や先輩・後輩の方々とお誘いの上、お気軽にご参加ください。

教職員異動

平成十三年度(敬称略)

〔退職〕

校長 佐々木玄雄
 数学 後藤 忠厚
 数学 森尾 龍夫

〔転出〕

数学 北原 道明 白子高校
 世界史 丹羽 徹 川越高校
 化学 小澤 尚芳 桑名高校
 化学 平瀬みえ子 四日市工業高校
 生物 丹下 和子
 国語 小木曾まき セントヨシ
 女子学園

〔転入〕

校長 寺下 弘 石薬師高校
 数学 浦田 治 菰野高校
 数学 寺嶋 賢治 稲生高校

〔前任校〕

事務 養護 吉田まち子 四日市中央工業高校
 今村寿賀子 北勢水道拡張建設事務所
 養護 小川 幸代 桑名北高校

～南高同窓会会報作成協力費納入のお願い～

盛夏の候、会員の皆様には益々ご健勝でご活躍の事とお慶び申し上げます。平素は同窓会の活動にご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。さて、今回同窓生の皆様のご協力により、同窓会報第32号を発行することができました。今後ともより充実した同窓会報をお届けできるように努めてまいりますので、ご支援、ご協力頂きますようお願いいたします。会報は、南高同窓会会計の限られた予算でまかっていますが、近年、生徒数の減少等により財源の確保に苦慮している状況の中、向こう4ヶ年間の会報作成協力費として、1,000円を頂きたいと思っております。何卒事情ご賢察のうえ、同封の振込用紙にて振り込みいただきますようよろしくお願い申し上げます。なお、振り込みいただいた会員には今後4年間会報をお届けする予定であり、4年を経過したところで再度全員に会報を送付し、前記と同様のお願いをさせていただきます。どうか、この主旨をご理解下さいまして、一人でも多くの方々のご送金にご協力を頂きますようお願い申し上げます。

記

- ※徴収金額 1,000円
 - ※振込方法 同封の振込用紙にて、最寄りの郵便局でお願いします。
 - ※徴収期限 平成13年8月1日～14年3月31日
- 三重県立四日市南高等学校同窓会 会長 平野哲次

同窓会役員

会長 平野 哲次 (1期)
 副会長 竹内(伊藤)久美子 (2期)
 書記 木村 哲美 (6期)
 " 大日方敏之 (15期)
 理事 小柳 秀樹 (20期)
 " 寺尾 俊一 (20期)

〔学校側〕

顧問 寺下 弘 学校長
 会計 出口多芳美 事務次長
 理事 浦田 治 教諭
 " 田中 留美 "
 " 西村 幸三 "

〔連絡先〕

〒510-8562 四日市市日永字岡山4917
 三重県立四日市南高等学校同窓会事務局
 TEL<0593>45-3177・3178
 FAX<0593>45-9549